



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-304-8210

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,684	10.7	222	114.9	231	95.5	154	91.6
2019年3月期第2四半期	4,229	5.5	103	43.7	118	39.3	80	37.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 148百万円 (66.6%) 2019年3月期第2四半期 88百万円 (29.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	38.09	
2019年3月期第2四半期	19.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,038	3,431	56.8
2019年3月期	5,852	3,335	57.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,431百万円 2019年3月期 3,335百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		13.00	13.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,330	5.0	400	29.4	415	21.0	275	24.4	67.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,060,360 株	2019年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,257 株	2019年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,053,103 株	2019年3月期2Q	4,053,103 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内企業の生産や輸出に減速傾向はあるものの、企業収益は高水準で底堅く推移しており、それに伴う雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しなどを背景として、緩やかに回復しながら推移いたしました。しかし、海外では、米国は景気回復基調であるものの、欧州の一部やアジア諸国での減速傾向が懸念されております。さらに各国の通商政策による貿易摩擦などの影響、原油価格の上昇、政策動向による不確実性、金融市場の変動などによる下振れリスクがあり、今後のわが国への影響が懸念されております。

当社グループの中心となっている住宅建築業界におきましては、消費税増税に対応するための住宅取得に対する諸施策の継続、住宅ローンの低金利水準の維持などの背景がありましたが、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済状況のもとで、当社グループの建設工事業において、新築戸建住宅向けの各種工事件数の低調な推移はあったものの、個人消費者からのリフォーム件数や集合住宅などの中規模建設物に対する補修・修繕工事の件数は増加し、業績は伸長いたしました。

住宅等サービス事業では、床下環境改善の防湿商品の販売は減少いたしました。新規のシロアリ対策の受注確保に努め、業績は伸長いたしました。

ビルメンテナンス事業では、不採算作業の見直しを実施したことにより作業件数が減少し、所有不動産の修繕を実施したこともあり、業績は厳しい状況となりました。また、人手不足が顕著であり、清掃スタッフを確保するためのコスト増加や賃金相場の上昇により、原価の上昇が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,684百万円(前年同四半期比10.7%増)となり、営業利益は222百万円(前年同四半期比114.9%増)、経常利益は231百万円(前年同四半期比95.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は154百万円(前年同四半期比91.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて186百万円増加し、6,038百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加157百万円、たな卸資産の増加59百万円、現金及び預金の増加22百万円があったものの、旧本社事務所の土地及び建物の売却などによる有形固定資産の減少55百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて91百万円増加し、2,607百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加99百万円、その他の流動負債の増加21百万円があったものの、長期借入金の減少35百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて95百万円増加し、3,431百万円となりました。主に利益剰余金の増加101百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の減少6百万円があったことによるものであります。

## (キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、22百万円増加(前年同四半期は149百万円の増加)し、当第2四半期連結会計期間末には1,246百万円(前年同四半期は1,183百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、97百万円(前年同四半期は201百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益225百万円に加えて、仕入債務の増加による資金の増加99百万円があったものの、売上債権の増加による資金の減少157百万円、法人税等の支払額63百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、13百万円(前年同四半期は91百万円の減少)となりました。これは、主に旧本社事務所の土地及び建物など有形固定資産の売却による収入98百万円、定期預金の払戻による収入27百万円があったものの、営業所拡充に伴う事務所建設用地など有形固定資産の取得による支出79百万円、定期預金の預入による支出27百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、87百万円(前年同四半期は39百万円の増加)となりました。これは、主に配当金の支払額52百万円、長期借入金の返済による支出35百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月8日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2019年11月7日)公表の「2020年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,257,808	1,280,595
受取手形及び売掛金	1,101,348	1,259,067
たな卸資産	698,811	758,032
その他	89,032	100,155
貸倒引当金	△5,656	△5,587
流動資産合計	3,141,344	3,392,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	901,036	881,439
土地	1,373,677	1,337,374
その他(純額)	15,031	23,555
有形固定資産合計	2,289,746	2,242,369
無形固定資産		
その他	9,609	9,231
無形固定資産合計	9,609	9,231
投資その他の資産		
その他	411,913	395,327
貸倒引当金	△400	△460
投資その他の資産合計	411,513	394,867
固定資産合計	2,710,868	2,646,468
資産合計	5,852,213	6,038,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	735,821	835,763
短期借入金	410,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	70,392	70,392
未払法人税等	67,567	57,908
賞与引当金	100,630	107,637
完成工事補償引当金	31,600	35,300
その他	245,980	267,677
流動負債合計	1,661,990	1,784,678
固定負債		
長期借入金	329,608	294,412
退職給付に係る負債	369,589	374,883
長期未払金	9,840	9,840
その他	145,206	143,491
固定負債合計	854,243	822,626
負債合計	2,516,234	2,607,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	2,966,876	3,068,562
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	3,296,877	3,398,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,101	32,862
その他の包括利益累計額合計	39,101	32,862
純資産合計	3,335,978	3,431,425
負債純資産合計	5,852,213	6,038,731

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,229,738	4,684,124
売上原価	3,147,584	3,442,182
売上総利益	1,082,153	1,241,942
販売費及び一般管理費	978,380	1,018,957
営業利益	103,773	222,984
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	820	836
受取手数料	1,978	2,078
受取保険金	5,840	1,725
受取賃貸料	6,266	5,728
その他	4,554	5,426
営業外収益合計	19,473	15,809
営業外費用		
支払利息	1,379	2,054
賃貸費用	2,613	4,787
その他	735	284
営業外費用合計	4,728	7,125
経常利益	118,518	231,667
特別利益		
固定資産売却益	-	405
特別利益合計	-	405
特別損失		
固定資産売却損	-	6,654
特別損失合計	-	6,654
税金等調整前四半期純利益	118,518	225,419
法人税、住民税及び事業税	52,499	60,515
法人税等調整額	△14,542	10,526
法人税等合計	37,957	71,042
四半期純利益	80,560	154,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,560	154,376

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	80,560	154,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,357	△6,238
その他の包括利益合計	8,357	△6,238
四半期包括利益	88,918	148,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,918	148,137
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	118,518	225,419
減価償却費	61,647	22,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,162	7,007
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	3,400	3,700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,766	5,294
貸倒引当金の増減額(△は減少)	70	△9
受取利息及び受取配当金	△834	△850
支払利息	1,379	2,054
有形固定資産売却損益(△は益)	—	6,248
売上債権の増減額(△は増加)	213,118	△157,718
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,197	△59,221
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,543	99,942
その他	△38,374	6,870
小計	281,111	161,532
利息及び配当金の受取額	834	850
利息の支払額	△1,384	△1,945
法人税等の支払額	△78,576	△63,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,984	97,062
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△27,859	△27,859
定期預金の払戻による収入	27,858	27,859
有形固定資産の取得による支出	△91,365	△79,663
有形固定資産の売却による収入	—	98,373
無形固定資産の取得による支出	△203	—
貸付けによる支出	—	△5,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,569	13,609
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△35,196
配当金の支払額	△60,796	△52,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,203	△87,886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	149,618	22,786
現金及び現金同等物の期首残高	1,034,341	1,223,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,183,959	1,246,523

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,714,348	647,956	867,432	4,229,738	—	4,229,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,115	1,211	3,018	6,345	△6,345	—
計	2,716,463	649,168	870,451	4,236,084	△6,345	4,229,738
セグメント利益	97,238	111,539	55,685	264,463	△160,690	103,773

(注) 1. セグメント利益の調整額△160,690千円には、セグメント間取引消去14,523千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,213千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,166,175	679,804	838,144	4,684,124	—	4,684,124
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,532	1,244	329	20,105	△20,105	—
計	3,184,707	681,049	838,473	4,704,229	△20,105	4,684,124
セグメント利益	182,201	123,430	40,669	346,031	△123,317	222,984

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,317千円には、セグメント間取引消去14,761千円、各報告セグメントに配分していない全社費用138,078千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。